



通信

今年は新型コロナウイルスにより、今までの生活様式が大きく様変わりし、社会的距離（ソーシャルディスタンス）を保つことが当たり前の生活となってきています。そのため、仕事のスタイルや日常のショッピングに至るまで、大きく変わってきました。当ふれあいの森伊勢崎の活動についても例外ではなく、7月まで活動を自粛したことも事実です。例年ですとアジサイが咲くころに、伊勢崎・高勢町の有志で『あじさい祭り』を開催し、多くの方々に楽しんでいただいておりますが、今年は「感染対策上無理があるのではないか」ということで見送りました。

「このまま今年の活動は中止するのか」との意見もいただきましたが、8月に事務局会議で活動の再開を決定した次第です。また今年はいじさい祭りが中止となりましたが、『地域の方々とのふれあいの場を』ということで10月に植樹祭と合わせて収穫祭も開催しました。

大きく生活様式が変わってきていますが、森づくり活動は地域の宝として活動を中止することはできません。活動についても社会情勢に対応しながら進めていくことになりそうです。

1 前半の活動報告

今年度の活動は11年目になります。森づくりの協定も再度締結され新たなスタートを切りました。活動当初から代表を務めていただいた小山泰明さんが代表を勇退し、新たな代表として布施真人さんが任命されました。新型コロナウイルスの影響でスタートは遅れましたが、新たな代表の下前半の活動が開始されました。

(1) 夏の下草刈り

夏場草を刈らないと冬の管理が大変なることから、例年通り実施しました。2回実施する計画でしたが、長雨の影響で1回の作業となりました。作業は密にならないよう距離を保ち、距離が保てない作業ではマスク着用での活動となりました。



作業前の確認事項



密をさけての作業

(2) 植樹祭の準備

本来であればあじさい祭りの際に植樹祭を実施する計画でしたが、あじさい祭りが中止となったため、秋季緑化運動期間（9月1日～11月30日）内の10月18日に植樹祭を実施することとなり、その準備作業を2回実施しました。主な作業内容は植樹祭メイン会場の整備とロウバイの事前植樹となりました。



メイン会場の整備



ロウバイの事前植樹

2 植樹祭・収穫祭が開催されました。

10月18日に行われました植樹祭と収穫祭の記録です。植樹祭では国蝶であるオオムラサキがより多く舞うようにとエノキを植樹しました。植樹祭の後、地元で収穫された野菜やコメ等を使用した収穫祭を開催しました。多くの皆様に参加いただきありがとうございました。なお植樹祭の詳細につきましては栃木県県東環境森林事務所のホームページにも掲載されています。公開アドレスは下記の通りです。

○ 公開アドレス：<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d52/kikaku/ryokka/ryokka-katudou.html>
こちらもおあわせてご覧いただければと思います。



作成された看板



各関係機関の代表者



県土緑化のメッセージ伝達



県東環境森林事務所長による植樹



ふれあいの森伊勢崎代表による植樹



副市長による植樹



とちぎ森づくりサポーターによる植樹



エコ・もり地域推進協議会の会員による植樹



エコ・もり地域推進協議会の会員による植樹



参加者全員で記念撮影



収穫祭の開催状況



ホクホクの焼きイモ!!



貝だくさんの豚汁!!



ヤマグリ入り饅頭!!



内水面の恵みアユ!!

まだまだ紹介したい写真がたくさんありますが、用紙の関係でご了承ください。今後も、地域の皆さんや関係者の皆さんと、より一層かがやける地域を目指して活動していきたいと考えております。

写真撮影協力：小高 和則 さん

今後とも皆さまのご協力よろしくお願ひします。